

第6章

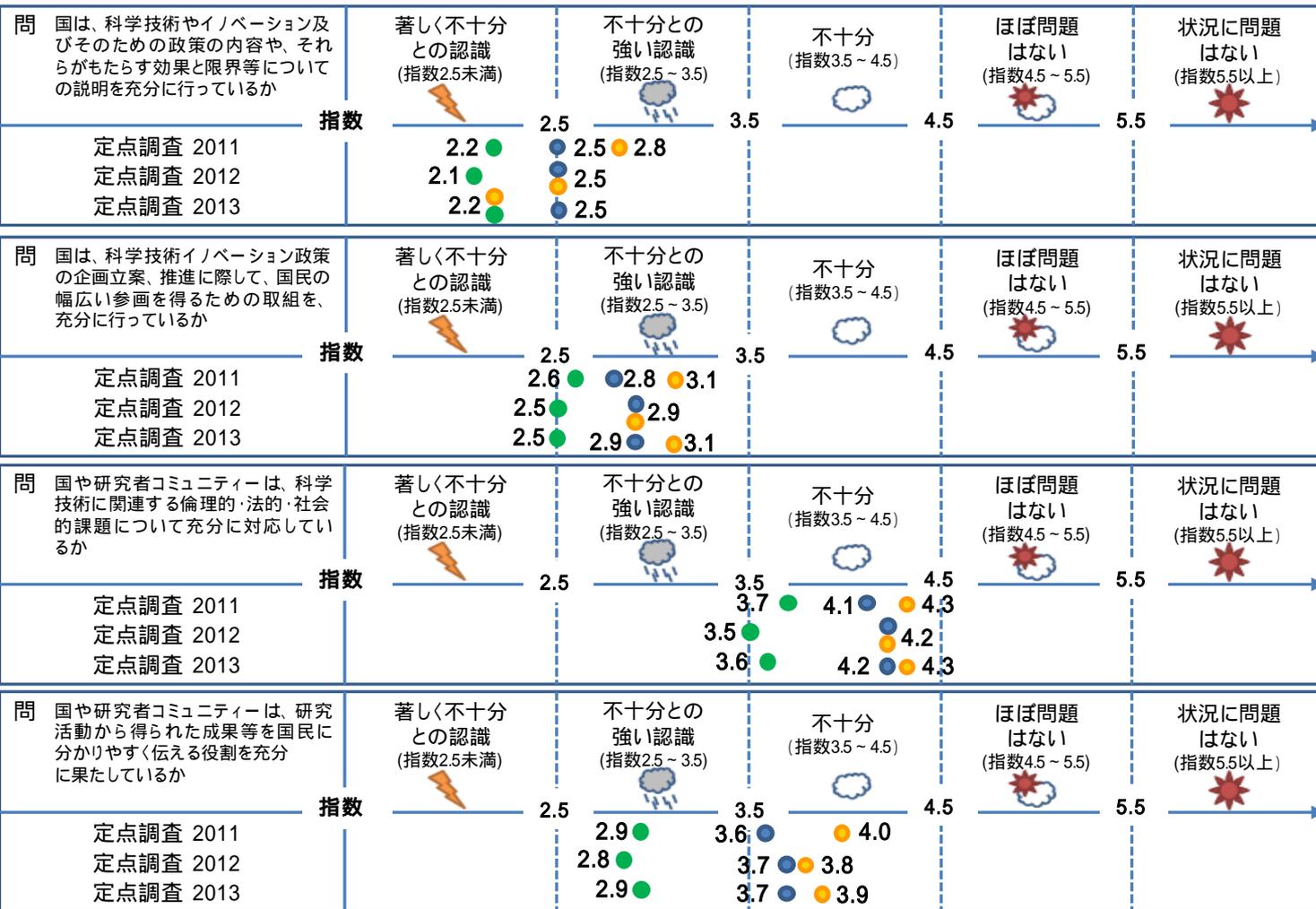
科学技術イノベーションと 社会との関係深化

国による科学技術イノベーション政策の対外的な説明取組は不十分との強い認識。また、政策の企画立案等に際し、国民の幅広い参画を得るための取組の実施状況についても不十分との強い認識。
 国や研究者コミュニティの科学技術に関する倫理的・法的・社会的課題への対応は不十分との認識。
 国や研究者コミュニティの研究成果等を国民に分かりやすく伝える役割が不十分との認識。

- 大学
- 公的研究機関
- イノベ俯瞰

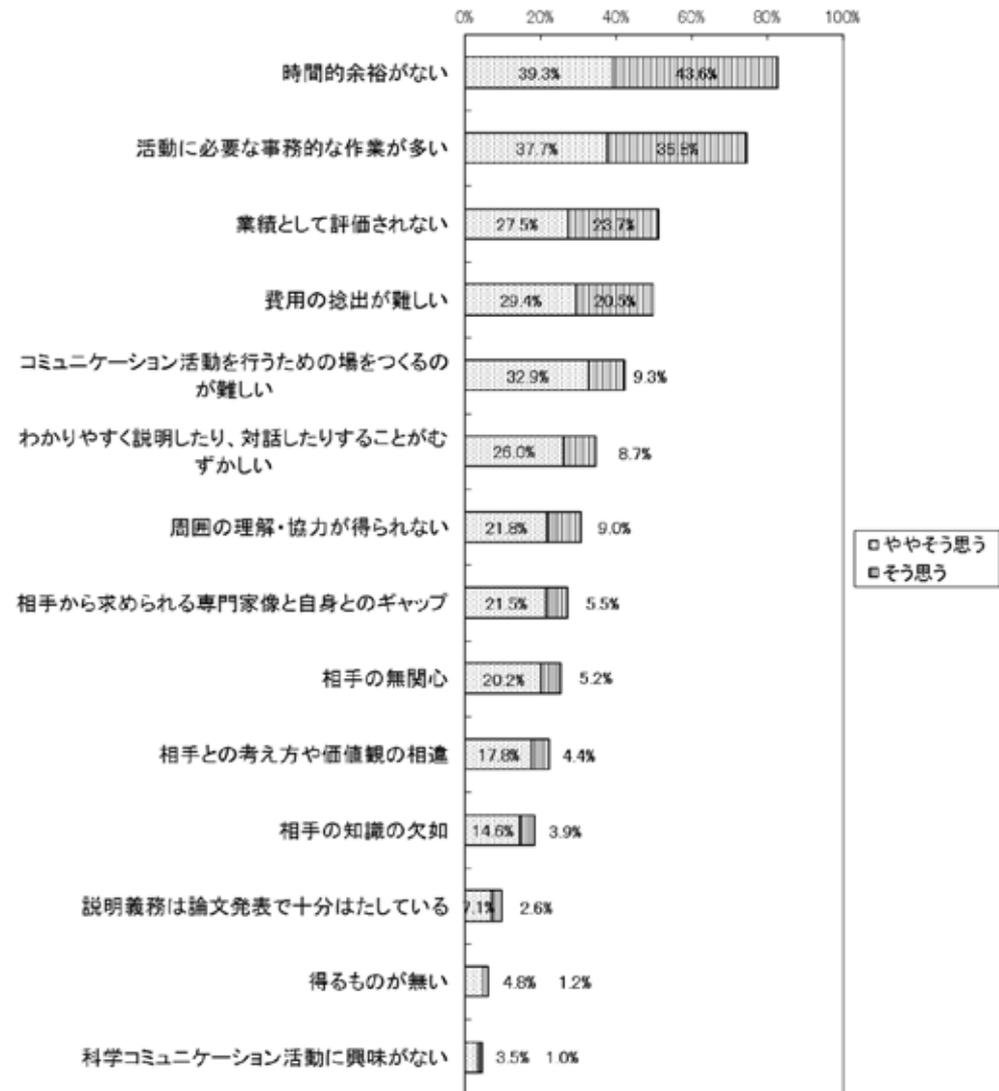
「大学」「公的研究機関」は、大学・公的研究機関の長や教員・研究者、「イノベ俯瞰」は、産業界等の有識者や研究開発とイノベーションの橋渡しを行っている方等

出典：科学技術・学術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2013）」
 NISTEP REPORT NO.157（平成26年4月）を基に、文部科学省作成



科学コミュニケーション活動における障壁として、「時間的余裕がない」、「活動に必要な事務的な作業が多い」、「業績として評価されない」等を挙げる研究者が多い。

科学コミュニケーション活動の経験がある人の科学コミュニケーション活動を行う上での障壁



※ N=5,362